



ふれあいネットワーク

社協まつもと



新春に響け、和太鼓の音！
私たちも太鼓演奏楽しんでいきます

「ドンドン、ドドンコドン」冬の陽光を浴びた体育館に和太鼓の音が響いています。叩いているのは、松本養護学校中等部・高等部の生徒、同窓生24名と保護者及び地域サポーターで構成する「まつよう太鼓JOY」。お腹の底にズシとくる太鼓の迫力。メンバーの目は真剣ですが、どこか楽しそう。大勢の人とふれあいながら演奏を聴いてもらえるよう、今日も自然と練習に力が入っています。

(詳細記事：2ページ)

- ・まつよう太鼓JOYの活動…………… 2 P
- ・認知症や障害のある方を支えて…………… 2 P
- ・見守り安心ネットワーク活動の実践例…………… 3 P
- ・福祉まんが「あいちゃん」…………… 3 P
- ・ボランティア情報「こてまり」…………… 4～5 P
- ・平成24年度日赤社資の報告とお礼…………… 6 P
- ・介護者の集い参加者募集…………… 6 P
- ・社協ホームページのお知らせ…………… 6 P



平成25年 No.197
1月1日号



発行 社会福祉法人 松本市社会福祉協議会 電話 27-2000
編集 社協まつもと編集委員会 FAX 27-2239
E-mail: syakyoum@avis.ne.jp http://www.syakyo-matsumoto.or.jp

私にもできる安全・安心な地域づくり

楽しくやろう、音楽を楽しもう!

— まつよう太鼓JOYの活動 —



まつもと音楽フェスティバルでの演奏の様子

「まつよう太鼓JOY」は松本養護学校の子どもの可能性を見出し、将来の生活の充実を願って平成22年に結成されました。

太鼓奏者小林辰哉さんと地域サポーターの協力を得て、毎月2回練習をしています。小林先生は障害がある無しかかわらず、甘やかさず厳しく、要求は高く、しかし説明はていねいでよく褒めるとのこと。昨年十月に開催された「まつもと音楽フェスティバル」では堂々と演奏

を披露し、会場を熱く魅了しました。「最初は太鼓の前に5分も居られなかったが、集中力が増した」と、保護者は子どもの成長に目を細めます。

メンバーも「リズムを覚えるのは大変だけれど、大勢の人に聞いてもらえる事がとても嬉しい」と目を輝かせます。保護者も子どもと一緒に太鼓を叩く楽しさを共有しています。

認知症や障害のある方を支えて ～日常生活を支援する現場から～

「日常生活自立支援事業」は、認知症や知的・精神の障害などにより、判断能力が十分でない方を対象としています。日常生活での福祉サービスの利用や金銭管理等がうまくできない方々が、安心して自立した生活ができるよう支援を行なうものです。

約100名の方と契約を結び、社協が研修を行ない委嘱した専門員、生活支援員20名が利用者のお宅を訪問しています。支援には利用料と交通費はかかります(生活保護世帯は無料)が、高齢化が進む中で、さらに需要が増えることが予想される事業です。

松本市社協では、今年もこの事業を通して、市民の皆さんの権利擁護を推進していきます。

今回は、事業に携わっているお二人に現状をお聞きしました。

[仕事を始めた動機は]

- ・大澤専門員 社会のお役にたてれば、という思いからです。
- ・滝澤生活支援員 施設での介護経験を生かせれば、との思いからです。

[具体的な仕事の内容は]

- ・大澤 支援計画を作成するため利用者宅を訪問します。また市のケースワーカーや病院、施設、相談機関等と連絡調整を行ないます。さらに各生活支援員の援助報告に基づいて、支援上の課題や対応について協議・検討をしています。
- ・滝澤 専門員が立てた支援計画をもとに、日々の生活に必要な金銭の受け渡しや家賃等の支払いを行

ないます。併せて公共料金の引き落とし手続き等、公的機関へ書類を提出します。

また、利用者の悩み事等の話を傾聴し、必要に応じてアドバイスをしています。



自立した生活が送れるよう、個々にあった計画を検討する大澤専門員(左)と滝澤生活支援員

[利用者と接する時、心がけている事は]

- ・大澤 上から目線にならないよう、対等の立場で接するようにしています。また無駄な出費をせずに、どう生活を充実させるかという事に気を配ります。
- ・滝澤 生きていく喜びを見いだせるよう、またその人らしい生き方、前向きな気持ちで生活できるように、利用者に寄り添って話を聞いています。

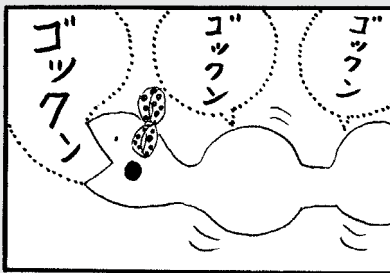
[市民の皆さんに伝えたい事は]

- ・大澤 当事者の方は一人で、または家族で抱え込まないで、声に出してSOSを発信してください。私たちや関係機関の方たちでお手伝いさせていただきます。
- ・滝澤 認知症や障害のある方を偏見の目で見ないで、ボランティア活動等でふれあい関わることで、理解を深めていただければ幸いです。

拡げよう、ご近所での見守り・声かけを!

—見守り安心ネットワーク活動の実践例—

あいちゃん 作・上原ゆう子



松本市社協では、高齢や障害等のため日常生活に不安のある方に対して、日頃から隣近所で見守り・声かけ・安否確認等を行ない、災害等により援助が必要な時には、地域で連携して助け合う「見守り安心ネットワーク活動」を提唱しています。町会等を中心とした取り組みを紹介します。

【鎌田地区月見町の取り組み】

- ・月見町町会は東京オリンピックの年に設立され、世帯は約250。平成18年10月から、ボランティア部が中心となり、毎月第1火曜日、月見町公民館に高齢者等を招いて、「サロン月見草」を開催。
- ・サロンの運営費は、夏場に開催される「ふれあい朝市」の収益と参加費。
- ・毎回50名以上の方が参加し、コーヒーや紅茶を飲みながら、近況報告や健康の話を持ちとけて語るなかで、隣近所の交流が深まり、自然発生的な助け合いに結びついている。
- ・サロン活動が波及した事例として
 - ①顔を見かけなくなった一人暮らしの方を近所が心配し、警察に連絡を取り、家の中で倒れているのを見つけ、病院に搬送して助かった。
 - ②車はあるが夜になっても電気がつかない方について、手を尽くして調べた結果、遠方の家族のもとに居る事がわかり、以降、外出する時は近所に連絡するようになった。
- ・一昨年の松本地震では、屋根瓦の破損60棟、塀の損壊10件と大きな被害に遭う。町会長を先頭に、いち早く個別に訪問して安否や被害状況を確認し、転倒した灯油タンクの復旧や家具が散乱した家の片づけを手分けして行なう等、絆の強い町会になっている。
- ・除雪活動も隣同士で自発的に助け合い、安全な道路の確保に努めたり、不審者が出たことを契機に、児童の登下校時に見守りも行なっている。
- ・町会会報を通じて、①留守にする時は、近所に連絡する。②新聞が溜まっていたり、夜になっても電気がつかない時は、町会長か民生委員に連絡する等を徹底。



男性が大勢参加したサロン月見草

☆見守り安心ネットワークとは

ご近所や知り合いの高齢の方、障害のある方等をさり気なく見守り、「あれ?どうしたのかな?」「ちょっと心配で!」といった気づきを見逃さず、いざという時には、隣近所で助け合う活動です。



◎各地区社協、町会等で行われているふれあい会食会・配食事業も、一人暮らし高齢者や高齢夫婦等との心のふれあいを通して、安否や健康状態を把握する大切な事業です。
 ※社協では、「社協劇団」による寸劇を通して、見守り活動のPRを行なっています。
 寸劇についてのお問い合わせは(電話)25-7311まで。

会食会のアトラクションとして社協劇団による見守り活動の寸劇(庄内地区神田町会)



食事をしながら日頃の様子を情報交換(城北地区)



ボランティア情報 **こてまり**

- 「こてまり」はこんな情報を発信しています！*****ボランティア活動についての情報・活動者、団体の紹介・講習会や行事などの紹介
- 問い合わせ/記事掲載の申し込み*****松本市社会福祉協議会内ボランティアセンター TEL25-7311 FAX27-2239



若いパワーで!

青年ボランティア「ヤンチャVo's」 (やんちゃぼうず)～安曇地区～

昨年の秋、安曇地区で青年ボランティアグループ「ヤンチャVo's」が立ち上がりました。立ち上げのきっかけは、“よりよい安曇を考える集い”に社協からお誘いを受けて参加したことでした。講座を通して私たちの世代も安曇地区を盛り上げ、故郷に貢献したいと考えてメンバーを募集しました。10～30代の賛同者が20名以上集まり、安曇地区に関わる市役所や社協の職員の方にも仲間に加わっていただきました。9月に発足会を開き、グループ名や活動内容について熱く話し合いました。決定した名前が「ヤンチャVo's」です。この名前には**ヤングチャレンジVolunteer's(ボランティアーズ)**という意味が込められています。

そして第1回目の活動として、安曇地区文化祭を盛り上げるためにフランクフルト、綿あめ、ポップコーン、豚汁の出店を行ないました。

文化祭に訪れた多くの人たちに喜んでもらえて大成功だったと思います。



文化祭で賑わったヤンチャVo'sの出店

また、文化祭実行委員会との関わりの中で協力し合い、一緒になって文化祭を作り上げたことが嬉しかったです。

小さな地区のグループですが、懇親会など仲間同士で楽しむイベントも企画したいと思います。また今後はメンバーの特技を活かした活動や、子どもやお年寄りを対象にした世代間交流など安曇地区をもっと盛り上げて、元気にしていけるような活動を展開していきたいと考えています。

(ヤンチャVo'sリーダー 輪湖雅和)

女性パワーも!



町会ボランティア活動 コスモスの会～笹賀地区神戸町会～

笹賀神戸町会で、まさに身近な町のボランティア活動を実践しているコスモスの会のみなさん14名。元健康づくり推進委員だった女性の方々が中心となり、町会の様々な活動を支援しています。

立ち上げて3年目になる未就学児を持つお母さんたちの集まり“タマゴボーロ”では、若いお母さん方のよき相談相手になったり、子どもたちの健やかな成長を見守る地域のオバチャンになりたいと、代表の三村玲子さんは笑顔でおっしゃいます。

この集まりがなければ小さい子どもを持つ若い世代との交流はなく、なんとか関わりをもち、子育て支援をしながら逆に自分たちも子どもの笑顔に元気をもらっているのだそうです。また、緑化推進活動もしていて、町内3カ所を整地して花々を植えています。自分たちもきれいに咲いた花を見ると嬉しい気持ちになり、また、町内のみなさんの心が和めばもっと嬉しいと来年は5カ所に増やすそうです。さらに高齢者の見守り声かけ活動や、買い物支援なども考えています。どんな方が自分の周りに暮らしているか知っていないと、いざという時に支援できないという危機管理意識も高く、これからは防災面での活動も期待されます。「コスモスの会の活動がす

ごく楽しいんです」と心から楽しそうに話してくださいました。三村さんの表情が輝いていました。



(取材：ボランティアセンター)

ボランティア活動紹介

第1回目は40人参加!

入山辺地区ボランティア講座

昨年の6月、入山辺地区ではボランティアで地域福祉の活性化を図ろうとボランティア育成委員会を立ち上げました。ボランティアで地域起こしを図るために具体的に何をどうすればいいのかわからない、という声があつて基本から勉強することになりました。

第1回目はボランティアの基礎「ボランティアってなあに?」ということで、40人が参加しました。原則は「自発性」「無償性」「創造性」にあり、無理をしないで楽しみながら継続しよう、そして、できる範囲で気づいたことから始めてみようというものでした。

2回目は支え合いを実施している地区の事例を学び、3回目は、隣近所で緊急事態をいち早く発見するしくみ、「見守り安心ネットワーク」についての理解を深め、入山辺地区での活動へ展開するきっかけを見つきたいと思います。

(入山辺ボランティア育成委員会 平林 八郎)



ボランティア活動の基礎を学びました

松本市ボランティア交流集会

どうぞご参加ください



日時 平成25年2月9日(土曜日) 10:00~15:30

会場 松本市総合社会福祉センター4階大会議室

日程 9:30~ 受付 ウェルカムコンサート

今年はゴスペルの歌声でお迎えます。



10:00~ 開会

活動発表 今年はどうな発表?・・・お楽しみに!!

12:00

昼食 パンや、お弁当、カレーなど施設の販売があります。



どうぞご利用ください。

フリー交流 みなさん、ご自由につながり合う時間にしてください。

13:30

講演会 演題「遺品整理の現場から学ぶ」

～最期まで孤立しないために～

講師 天国へのお引越しのお手伝い

キーパーズ代表取締役 吉田 太一氏

15:30 閉会

参加者 ボランティア活動、地域福祉活動に関心のある方

参加費 無料です

問い合わせ 松本市ボランティアセンター

電話:0263-25-7311

FAX:0263-27-2239

昨年の様子



パンの販売



全社協 園崎秀治さんの講演
「災害ボランティア活動」



さまざまな活動発表



日赤 社資へのご協力、ありがとうございました!

実績額 28,863,133円

日赤松本市地区では、皆さまからいただいた社資を、地域におけるさまざまな事業に活用させていただいております。【救急救命法・幼児安全法・健康生活支援講習等健康や安全を守るための講習会、災害に備えた地区・町会での炊き出し訓練等】

- ◇ 目標額 40,371千円
- ◇ 実績額 28,863千円
- ◇ 達成率 71.5%

(平成24年5月1日～12月15日現在)



【市地区・35分区事業へ】
5,195千円 (18%)



【長野県支部活動へ】
災害救助、医療事業、青少年赤十字・
地域奉仕団育成等
19,338千円 (67%)



【本社事業費へ】
被災地支援、国際救援活動等
4,330千円 (15%)

介護者の集い参加者を募集しています!

日 時	会 場	内 容	申し込み締切日
平成25年 2月15日(金) 午前10時～午後3時30分	浅間温泉	・介護者の交流、懇談 ・健康福祉相談 ・つぼマッサージ	平成25年 1月18日(金)



- ◆ 対象者：現在、在宅で要介護高齢者（要介護1以上の方）を介護している松本市在住の方
- ◆ 定 員：20名
※1世帯につき1名の参加で申し込み多数の場合、新規の方を優先させていただきます。
- ◆ 参加費：1,000円

【申し込み・問い合わせ】

松本市社協 地域福祉課
電 話 27-3381
FAX 27-2239

社協 のホームページをご存知ですか

社協ホームページをリニューアルして1年余りが経ちました。

ホームページでは社協事務局の各部署での取り組みや各地区社協が行なった事業をブログで紹介しています。

また、今後は地区社協だよりや地域から寄せられた、旬の地域福祉活動や身近な情報を載せて、発信していく予定です。是非、ご覧ください!

ホームページアドレス
<http://www.syakyo-matsumoto.or.jp/>
松本市社協で検索できます。

